



# 軽防協ニュース速報

## 2023年第3四半期(7月-9月)の伝染病発生状況

2023年11月配信

(International Collating Centreからの情報)

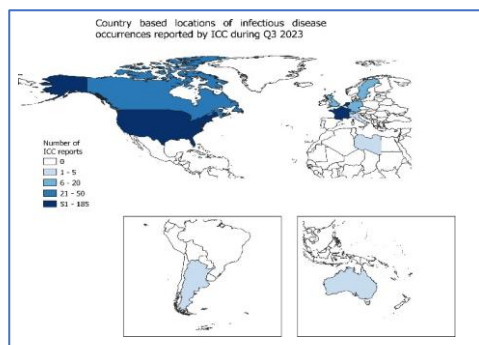
ICC 暫定 (リアルタイム) のレポートは、[equinesurveillance@gmail.com](mailto:equinesurveillance@gmail.com) から受信登録を行うことで e-mail による受信が可能となる。

また、<https://equinesurveillance.org/iccview> のページ内にも、同内容のレポートや最新の流行状況が掲載されている。

この記事は、2023年第3四半期(7月-9月)の各国の伝染病発生状況の要約したものである。また、ICC 暫定 (リアルタイム) のレポートでは報告されていなかった疾病発生状況の追加情報が寄せられていることにも留意されたい。この追加情報は、本レポートの表と本文の該当する箇所に\*印または#印を付して示されている。

このレポートに示されているデータには、各国の研究所での検査サンプルや、報告方法に多少のバイアスがあるかもしれないため注意して解釈していただきたい。そのため、これらのデータが必ずしも世界各地における馬の集団内での伝染病発生率を的確に反映しているわけではないことをご了承願いたい。例えば、ある伝染病について発生報告がないからといって、必ずしもその伝染病がその国の中で存在していないということではない。以下の各表は国によって報告された病気の発生件数をまとめたものである。1件の発生で複数症例を含むものがある。

2023年第3四半期、ICCは14カ国から371件の伝染病発生情報の報告をした(地図上の網掛け)。報告された特定の疾病・感染症は、ウエストナイル熱(n=117)、腺疫(n=102)、東部ウマ脳炎(n=39)、馬ヘルペスウイルス4型(n=25)であった。



### 繁殖疾患

発生国	EHV-1	EHV-4
アルゼンチン	#3	-
フランス	-	1
ドイツ	1	-
南アフリカ	#3	-

#四半期末に報告があった追加情報

## 馬ヘルペスウイルス1型 (EHV-1) による流産

### アルゼンチン

#3 件の発生が報告された。そのうち1件は複数回のワクチン接種を実施している症例で、妊娠牝馬の神経疾患と新生子馬の死亡例が含まれる。異なる胚移植センターから100頭の繁殖牝馬を受け入れた施設で5例の発生があり、さらに2例の発生を認めた。陽性診断は、ウイルス分離とPCRによって行われた。

### ドイツ

ニーダーザクセン州の施設内で、ワクチン接種済の10歳のサラブレッド繁殖牝馬にEHV-1による流産が1例発生した。隔離された牝馬は妊娠6ヶ月目に流産した。陽性診断は胎子組織を用いたPCR検査と病理検査にて行われた。

### 南アフリカ

#西ケープ州の施設において、3例のEHV-1流産が報告された。

## 馬ヘルペスウイルス4型 (EHV-4) による流産

### フランス

EHV-4による流産が1例、ガール県のカマルグの15歳の牝馬で報告された。陽性診断は血液を用いたELISAで行われた。

## 呼吸器疾患

発生国	EHV-1	EHV-4	EI	ロド コッ カス	腺疫
ベルギー	-	1	-	-	-
カナダ	1	-	-	1	3
フランス	-	7	2	6	19
ドイツ	-	-	-	-	1
リビア	-	-	1	-	-
オランダ	2	13	1	7	44
南アフリカ	#2	-	-	-	-
スイス	-	-	-	-	5
イギリス	-	4	#8	-	-
アメリカ	-	#2	2	-	41

#四半期末に報告があった追加情報

## 馬ヘルペスウイルス1型 (EHV-1) による呼吸器感染症

### カナダ

EHV-1 呼吸器感染症が 1 例、ケベック州の施設でワクチン接種済みの 28 歳のクォーターホース牝馬で報告された。臨床症状は発熱、嗜眠、食欲低下、脚の腫脹、軽度の発咳、鼻汁などであった。

#### **オランダ**

2 件の発生を認めた。PCR 検査にて陽性を確認した。

#### **南アフリカ**

#2 件の発生が報告された。リンポポ州とクワズール・ナタール州でそれぞれ 1 例ずつ報告された。

### **馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による呼吸器感染症**

#### **ベルギー**

ナミュール県で、14 歳のワクチン接種済の馬で 1 例報告された。臨床症状は発熱、鼻汁、発咳であった。鼻腔スワブを用いた PCR 検査にて陽性を確認した。

#### **フランス**

7 件の発生が報告された。うち 6 件は、カルヴァドス県、ウール＝エ＝ロワール県、オート＝ガロンヌ県、イル＝エ＝ヴィレーヌ県、ジュラ県、メイン＝エ＝ロワール県、オルヌ県で単発症例であった。残りの 1 件はカルヴァドス県で 2 例の発生であった。臨床症状は、発咳、嗜眠、鼻汁、発熱が認められた。鼻咽頭スワブを用いた PCR で陽性を確認した。

#### **オランダ**

13 例の発生が報告された。大多数が単発症例であった（フレヴォラント州、フリースラント州、ゲルダールラント州、北ブラバント州、北ホラント州、オーファーアイセルル州、ユトレヒト州）。PCR で陽性を確認した。

#### **イギリス**

カンブリア州、ダラム州、ランカシャー州、レクシャム州で発生し、それぞれ単発症例であった。臨床症状は発咳、食欲不振、嗜眠、リンパ節腫脹、発熱、鼻汁などが認められた。1 頭は直前に 70 日齢で流産し、1 頭は *Streptococcus zooepidemicus* に重複感染していた。鼻咽頭スワブおよび鼻腔スワブを用いた PCR で陽性を確認した。

#### **アメリカ**

メリーランド州ボルチモアの競走馬トレーニング牧場において、2 歳のサラブレッドの子馬で EHV-4 呼吸器感染症の集団発生が 1 件報告された。臨床症状には鼻汁、元気消失、嗜眠、動きたがらないなどがあった。牧場には他に 20 頭おり、うち 18 頭が発熱と漿液性鼻汁を呈していた。#EHV-4 呼吸器感染症の発生が、四半期終了後にケンタッキー州の牧場の 1～2 群の繁殖牝馬 12 頭で報告された。陽性診断は PCR で確認された。

### **馬インフルエンザ (EI)**

#### **フランス**

2 件の発生が報告された。1 件はコレーズ県で発生した 1 例で、1 件はジロンド県で発生した 5 例であった。鼻咽頭スワブを用いた PCR で陽性を確認した。

## **リビア**

ガリヤン地方で 15 頭の発生が報告された。軽度から重度の呼吸器症状が認められた。PCR で陽性を確認した。

## **オランダ**

オーファーアイセル州で、1 件 2 頭の発生が報告された。PCR で陽性を確認した。

## **スウェーデン**

ヴァームランド郡スンネ市で 1 件の発生が報告された。

## **イギリス**

8 件報告された。うち 7 件は、バッキンガムシャー州、デヴォン州、エセックス州、ケント州、ノーフォーク州、ウェスト・ロージアン州、ウスターシャー州の単発症例であった。1 件はフリントシャー州の施設内でウマとロバが 2 例ずつ感染したものである。臨床症状は発咳、嗜眠、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱、眼脂などであった。2 件ではウマがアイルランドから到着してすぐに発生しており、さらに 2 つの発生例は、最近牧場に移動してきたばかりであった。陽性診断は鼻咽頭スワブの PCR で確認された。

#四半期終了後、スタフォードシャー州でワクチン未接種のアイルランド産 4 歳牝馬 1 頭が報告された。

## **アメリカ**

ペンシルバニア州とワシントン州で、それぞれ 1 例ずつ、2 件の EI が発生した。臨床症状は発熱、咳、鼻汁、食欲不振などであった。ワシントン州の施設で接触した他 2 頭も発熱を示した

## **ロドコッカス・エクイ**

### **カナダ**

ケベック州ルシヨン郡で 1 例報告された。

### **フランス**

6 件の発生が報告された。カルヴァドス県、イル=エ=ヴィレーヌ県、ロワール=アトランティック県、オルヌ県、ヴォージュ県、イヴリーヌ県でそれぞれ単発症例を認めた。さらにオルヌ県で 1 件の発生が報告された。臨床症状は呼吸困難などであった。陽性診断は鼻咽頭スワブまたは気管洗浄液による PCR で確認された。

### **オランダ**

7 件の発生が報告された。フリースラント州とゲルダラント州では 3 件の単発症例を認めた。また、フリースラント州とオウバイセル州では、複数症例が 4 件報告された。陽性診断は PCR で確認された。

## **腺疫**

### **カナダ**

3 件の発生が報告された。1 件はオンタリオ州の単発症例であった。1 件はブリティッシュコロンビア州での 2 症例、もう 1 件はオンタリオ州での 6 症例であった。臨床症状には下顎リンパ節膿瘍を認めた。

### **フランス**

19 件の発生が報告された。うち 16 件はアルデッシュ県、カルヴァドス県、ドゥーセーヴル県、ドゥーブル県、ドローム県、ウール県、オート＝アルプ県、ジュラ県、マンシュ県、モルビアン県、ローヌ県、イヴリーヌ県の別々の施設における単発症例であり、1 件は EHV-2 と EHV-5 の同時感染であった。オート＝ソーヌ県とローヌ県で 3 例ずつ、ローヌ県で更に 1 件の集団感染が報告された。臨床症状は膿瘍、咳、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱などであった。陽性診断は鼻咽頭スワブ、喉嚢洗浄液または膿性分泌物のスワブを用いた PCR により確認された。

### **ドイツ**

スイスとドイツの国境付近で 1 例の発生が報告された。臨床症状は発熱と呼吸器症状を認めた。PCR で陽性を確認した。

### **オランダ**

フレヴォラント州、フリースラント州、ゲルダールラント州、リンブルク州、北ブラバント州、オーファーアイセル州、南ホラント州、ユトレヒト州、ズヴォレで 44 件の発生が報告された。PCR で陽性を確認した。

### **スウェーデン**

ダーナナ県、オレブロ県、ソーダーマンランド県、ヴァルムランド県、ヴァステルボッテン県で 5 件の発生が報告された。

### **スイス**

バーゼル・ランシャフト州、ベルン州、グラールス州、シャフハウゼン州、チューリッヒ州で、5 件の発生が報告された。臨床症状には、四肢浮腫、リンパ節膿瘍、呼吸器症状、発熱が含まれ、陽性診断は、喉嚢洗浄液、リンパ節吸引物、鼻咽頭洗浄液の PCR で確認された。

### **アメリカ**

41 件の発生が報告され、そのうち 35 件がフロリダ州、カンザス州、インディアナ州、メリーランド州、ミシガン州、オハイオ州、ロードアイランド州、ワシントン州、ウィスコンシン州の単発症例であった。ミシガン州、ワシントン州、ウィスコンシン州では、施設内で 2 例が発生した集団感染が 3 件あった。ミシガン州とワシントン州では、1 つの施設内で 3 例発生した集団感染が 2 件あった。1 件の集団感染はミシガン州の施設で発生した 4 例であった。臨床症状としては、膿瘍、鼻汁、四肢の圧痕性浮腫、発熱、リンパ節の腫脹、腱鞘水腫、不安定な歩行、腹部水腫、体重減少などが認められた。

## **消化器疾患**

発生国	馬コロナウイルス	ロドコッカス・エクイ	ロタウイルス	サルモネラ症
アルゼンチン	-	-	#1	-
カナダ	-	-	-	1
フランス	-	3	6	-
オランダ	2	-	-	2

# 四半期末後に報告があったもの

## 馬コロナウイルス

### オランダ

ユトレヒト州とオーファーアイセル州で集団感染が2件報告された。陽性診断はPCR法で確認された。

## ロドコッカス・エクイ

### フランス

アヴェロン県、イゼール県、オルヌ県で、それぞれ単発症例が報告された。臨床症状としては、発熱、下痢、食欲不振、衰弱などがみられた。陽性診断は糞便または直腸ぬぐい液のPCRで確認された。

## ロタウイルス

### アルゼンチン

# A群ロタウイルスによる子馬の下痢が1件報告され、7頭が罹患した。母馬は出産の60日前、45日前、15日前にワクチン接種を受けていた。陽性診断はPCRで確認された。

### フランス

カルヴァドス、オルヌ、マイエンヌ、ヨンヌの4県で、ロタウイルスの集団感染が6件報告された。

## サルモネラ症

### カナダ

ケベック州の施設で1例報告された。臨床症状として、発熱、呼吸困難、大量の水様下痢、重度の脱水、チアノーゼ粘膜、重度の電解質失調がみられた。

### オランダ

ユトレヒト州とオーファーアイセル州の施設でサルモネラ症の集団発生が2件報告された。陽性診断はPCR法で確認された。

## 神経疾患

発生国	EEE	EHV-1	狂犬病	WNV
カナダ	12	1	-	9
フランス	-	-	-	#18
ドイツ	-	-	-	#4
アメリカ	29	1	1	93

# 四半期末後に報告があったもの

## 東部馬脳炎 (EEE)

### カナダ

オンタリオ州とケベック州のそれぞれ異なる施設で、単発症例が 12 件報告された。臨床症状としては、非対称性の知覚過敏、運動失調、旋回、沈鬱、頭部圧迫、後肢麻痺、発熱、横臥、脳神経障害、痙攣、硬直、頻脈、頻呼吸、脱力などの神経症状が見られた。

### アメリカ

フロリダ州、ジョージア州、メイン州、ミシガン州、ニュージャージー州、ニューヨーク州、ノースカロライナ州、ロードアイランド州で、それぞれ単発症例が 29 件発生した。臨床症状としては、死戦期呼吸、発育不良、協調運動障害、前傾、筋硬直、発熱、横臥、その他の神経症状が見られた。

## 馬ヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1) による神経疾患

### カナダ

オンタリオ州の 23 歳のワクチン接種済みの牝馬で報告された。臨床症状として、横臥と起立不能がみられた。この牝馬は安楽死となった。

### アメリカ

ネバダ州で 1 例の発生が報告され、ユタ州で獣医による治療を受けた。

## 狂犬病

### アメリカ

フロリダ州で、ワクチン未接種の 5 歳のウォームブラッド種のセン馬で 1 例報告された。臨床症状は、運動失調、尿失禁、自傷行為、攻撃性、発熱、痙攣などを認めた。この馬は安楽死となった

## ウエストナイルウイルス (WNV)

### カナダ

9 件の発生が報告され、アルバータ州、マニトバ州、オンタリオ州、ケベック州での単発症例であった。臨床症状としては、運動失調、脱力、鈍い精神状態、頭傾、平衡感覚の喪失、筋硬直、痙攣、その他の神経症状が見られた。

### フランス

ブーシュ=デュ=ローヌ県、シャラント=マリティーム県、ジロンド県、オート=コルセ県で単発症例が報告され、計 15 例の WNV の発生が報告された。臨床症状として、運動失調、麻痺、発熱、神経症状が見られた。<sup>#</sup>四半期終了後、ブーシュ=デュ=ローヌ県とオート=コルス県で単発症例が 3 件報告された。臨床症状として、運動失調、麻痺、神経症状がみられた。ELISA により陽性が確定された。

### ドイツ

<sup>#</sup>四半期終了後、ブランデンブルク州とザクセン=アンハルト州で単発症例が 4 件報告された。

### アメリカ

カリフォルニア州、コロラド州、アイダホ州、インディアナ州、アイオワ州、カンザス州、ケンタッキー州、ミシガン州、ミネソタ州、ミシシッピ州、ミズーリ州、ネブラスカ州、ニューヨーク州、ノースダコタ州、オハイオ州、オクラホマ州、ペンシルベニア州、サウスカロライナ州、テネシー州、ユタ州、ワシントン州、ウィスコンシン州、ワイオミング州において、WNV の発生が報告され、大多数が単独感染であった。臨床症状としては、運動失調、後肢脱力、食欲不振、嗜眠、筋硬直、横臥、頻脈、その他の神経症状がみられた。

### その他の疾患

発生国	AHS	アナプラズマ症	EIA	EVA	ヘンドラ	ライム病	馬ピロプラズマ症	ポトマック熱	VS
オーストラリア	-	-	-	-	1	-	-	-	-
カナダ	-	-	4	-	-	-	-	1	-
フランス	-	-	1	-	-	-	-	-	-
イタリア	-	-	3	-	-	-	-	-	-
オランダ	-	1	-	-	-	-	1	-	-
南アフリカ	<sup>#</sup> 9	-	-	-	-	-	<sup>#</sup> 52	-	-
スイス	-	1	-	-	-	-	1	-	-
アメリカ	-	-	10	1	-	1	-	2	7

<sup>#</sup>四半期末後に報告があったもの

### アフリカ馬疫 (AHS)

#### 南アフリカ

<sup>#</sup>アフリカ馬疫 (AHS) は、西ケープ州の AHS 管理地域を除き、南アフリカでは風土病である。以下の 6 つの州で症例が報告された：東ケープ州 (1 例)、ハウテン州 (3 例)、クワズール・ナタール州 (2 例)、北ケープ州 (1 例)、北西州 (1 例)、リンボポ州 (1 例) である。



## アナプラズマ症

### **オランダ**

サウスホランドで 1 例報告された。PCR 法で陽性と診断された。

### **スイス**

ヴォー州で 1 例報告された。臨床症状として発熱がみられた。PCR 法で陽性と診断された。

## 馬伝染性貧血 (EIA)

### **カナダ**

4 件報告された。3 件はアルバータ州とブリティッシュコロンビア州の単発症例であった。1 件はブリティッシュコロンビア州で 3 例発生したものである。

### **フランス**

オート＝アルプ地方のロバで 1 例の EIA が報告された。血清検査により陽性であることが確認された。

### **イタリア**

ラツィオ州では 3 件の単発症例が報告された。

### **アメリカ**

10 件の発生が報告された。そのうち 7 件は、フロリダ州、ミシシッピ州、オクラホマ州、テキサス州で発生した単発症例である。また、テキサス州では 3 つの施設において合計 7 例発生した。

## 馬ウイルス性動脈炎 (EVA)

### **アメリカ**

ペンシルベニア州では、生まれたばかりの子馬 12 頭で EVA の集団発生が報告された。子馬は重度の間質性肺炎を呈し、死亡した。

## ヘンドラウイルス

### **オーストラリア**

ニューサウスウェールズ州で、ワクチン未接種の 24 歳の馬 1 例が報告された。臨床症状として、沈うつ、運動失調、鼻汁、発熱がみられた。

### ライム病

### **アメリカ**

オハイオ州で、ワクチン未接種の 19 歳のスタンダードブレッド種のセン馬で 1 例報告された。臨床症状は軽度の筋痛であった。

## 馬ピロプラズマ症

### **オランダ**

ユトレヒト州で 1 例報告された。PCR 法で陽性が確認された。

## **南アフリカ**

#ピロプラズマ症は南アフリカの風土病であり、9 州中 8 州から症例が報告された。*B. caballi* 症例はハウテン州で 1 例報告された。*T. equi* の症例は以下のように報告されている。フリーステート州（1 例）、ハウテン州（24 例）、クワズール・ナタール州（2 例）、ムプマランガ州（3 例）、北ケープ州（3 例）、北西州（2 例）、西ケープ州（15 例）、リンポポ州（1 例）。

## **スイス**

ヴァレー州で 1 例報告された。臨床症状には衰弱が見られた。PCR 法で陽性と診断された。

## **ポトマック熱**

### **カナダ**

ケベック州で、*Clostridium difficile* を併発したポトマック熱が報告された。

## **アメリカ**

オハイオ州とウェストバージニア州で、2 件報告された。臨床症状としては、下痢、食欲不振、嗜眠、発熱が見られた。

## **水疱性口内炎 (VS)**

### **アメリカ**

2023 年 5 月 17 日に VS 発生が始まって以来、カリフォルニア、ネバダ、テキサスの 3 州の 203 施設で VS が確認された（70 施設で陽性、133 施設で疑い）。このうち 199 施設では、罹患したのはウマのみであった。VS 感染を認めた全 203 施設のうち、201 施設は新たな臨床例がなく検疫期間を終了し、解放された。カリフォルニアの 2 施設はまだ検疫中である。